

遊行寺だより

特別展『国宝 いっぺんひじりえ 一遍聖絵』のご案内

先月より始まった聖絵展ですが、お陰様で多くの方にご来場いただいております。引き続き「一遍聖絵」は、今月20日から遊行寺宝物館にて一、七、十一、十二巻、21日から県立歴史博物館にて四、五、六、十巻、19日から県立金沢文庫にて二、三、八、九巻、というように分かれて展示されます。各館の展示巻にはそれぞれ特色があり、全館を巡るとその味わいの違いを堪能していただけます。

* 観覧券の半券提示で、お一人様各館1回ずつ団体料金が適用され、お得に拝観していただけます

◆ 今月の行事予定

・ さいまつべつじねんぶつえ 歳末別時念仏会 【18～28日】

極楽往生の心と他力本願の深意を体得するために、当山僧侶は念仏三昧の修行をします。

ただし、27、28日を除き法要等は非公開です。

・ ひとつび 一ッ火 【27日】

一年で最も荘厳な時を迎えます。

暗黒の世界にただ一つ灯される新たな灯明は、光明あまねく念仏世界を本堂内に映しだします。

また、「1年間の悪業を懺悔し、来年の善行を志す」という意味合いもあります。

ぜひご参詣のうえ、念仏の世界をご体感ください。

・ げつれいほうわかい 月例法話会 【23日午後2時より】

信徒会館にて、ご参加は自由です。

当月講師：時宗布教伝道研究所 神奈川県横浜市 浄光寺 みうらりょうこう 三浦諒洸 師

◆ 今月の催事予定

・ 第24回 遊行福祉まつり 【1日】

お問い合わせ 第24回福祉まつり実行委員会 TEL:045-804-1118

・ 骨董市 【8、15日】

毎月第1日曜日…のみ蚤の市 〈お問い合わせ TEL:090-4416-2168(石田)〉

毎月第3日曜日…ボロ市 〈お問い合わせ TEL:090-2660-6935(中島)〉

(今月は歳末別時念仏会厳修のため第2日曜日に変更されます)

* 午前8時よりお昼過ぎまで(雨天中止)



* 遊行寺宝物館

特別展『国宝 一遍聖絵』【10月10日(土)～12月14日(月)】

・ 休館日：毎週火・水・木曜日(11月3日を除く)

入館料：800円(小・中学生400円、小学生未満は無料、15名以上の団体は2割引き)

師と弟子、親と子

宗祖の

今月のおことは

一遍上人は亡くなる前、時衆(付き従っていた念仏衆)が最後の教えを聞きたいと願ったところ次のように答えられました。

「あなた方の信心は身・口・意(三業:人間の一切の行為・意志)の働きを超えた念仏と一体であるとは言っても、言葉だけ知っていて、意味を知らない人が多い。しかし、阿弥陀様の教えはそのように一心に往生を願うことのできない人のためにあるのです。さて、他阿弥陀仏(二祖真教上人)よ、南無阿弥陀仏はうれしいものか」

この時、一遍上人と13年間旅を共にした真教上人は、一遍上人の心中を察し、歓喜の涙を流されました。言葉ではなく涙をもって答えられたことに、完全な帰依の心がうかがえます。

真教上人は本当に良い師に出会われました。今の世の中、よき師弟関係、親子関係というのはあまり多いとは言えません。学校や家庭で起きる諸問題がそれを表しているのではないのでしょうか。

茶道、武道などで使われる「守破離」という言葉があります。師匠の教えをまずは守り、次に破り、そして最後は自在に離れていくという意味です。ずっと守るだけが正しいとは言えないのです。師は弟子が一步先んじた時に師の役目を終えます。その恩は師より優れた業績を残すことで返すことができます。

また、一遍上人は時衆を弟子と呼ぶことはありませんでした。先生も弟子も共に真理を探究する一人の人間であるという謙虚な自覚が大切なのでしょう。

合掌

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。イネ！していただくと、随時記事をお読みいただけます。



(『一遍上人絵詞伝』 第四巻)

他阿弥陀佛
南無阿弥陀佛はうれしきか

～ 一遍上人のおこころ ～

他阿弥陀仏(二祖真教上人)よ、南無阿弥陀仏はうれしいものか。



ゆぎょうじ
時宗総本山 遊行寺

〒251-0001 藤沢市西富 1-8-1

TEL:0466(22)2063

FAX:0466(23)8243

ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>